

民主苫小牧号外
2026年
11.22
No.1165

日本共産党市議会議員
小野寺ゆきえです!

指先の穴より機能性に感動

すっかり寒くなりましたね。「手袋の季節が来た」と、私は物入れから手袋を出し、はめてみました。すると、人差し指の先に穴が開いており、指先が顔を出しています。「どうしよう」と一瞬迷いつつ、「まっいいか」とそれを使うことにしました。私の手袋は100均で買った物です。最近の100均は驚くほどデザインの良い商品がそろっており、私は愛用しています。

「指先が寒いかな〜」と心配していましたが、使ってみると穴はとても便利でした。手袋をはめたまま、スマートフォンを操作できるのです。冬の期間は手袋を欠かさない私の悩みは、スマートフォンを使うたびに手袋を外さなければならず、そのたびに手の寒さに苦痛を感じていたので、この穴は「便利!!」と感動しました。

数日後、夫が100均で新しい手袋を買ってきました。夫は、私の手袋の穴に不満を持ち、「かっこ悪いだろう」と文句を言っていたのです。私が全く気にしないことにも不満のようでした。私は「この穴、便利だったのに」と内心思いつつ、新しい手袋に替えることになりました。

新しい手袋の色はグレーなのですが、親指と人差し指の先の色だけが紺色をしています。なんと、手袋をはめたままスマートフォンが操作できる加工なのだといいます。試してみると、本当でした。100均は機能性も備わっているのです。しかも、数年使った手袋よりふわふわしており、温かさも増しました。とても感動です。

もう一つ、大きく感動する出来事がありました。先日、木製のリコーダーを「何年も使っていないから使ってほしい」と知人に譲っていただいたことです。私が使っているリコーダーは、娘が中学校時代に使っていたものなので、天と地の差です。

私が入っているリコーダー同好会の先生が、「良い楽器が技術を育てるのよ」と話していましたが、私も上達できるのでしょうか？　いや、やっぱり練習です。

先生にリコーダーを見てもらうと、とても良いもので、しかも新品に等しいと話し、手入れの方法や使い方を教えてくれました。木は生き物なので、デリケートなようです。大事に大事に使いたいと思います。良い音が出せるようになるのを夢見て、ワクワクしながら練習に励んでいます。楽しく仕事をするための私のエッセンスです。

発行：日本共産党苫小牧地区委員会　苫小牧市見山町2-2-6　（文・責：小野寺幸恵）